

令和2年4月待機児童数と解消に向けて

～待機児童数は減少、ゼロに向けてさらなる取り組みを推進～

【概要】

磐田市では、毎年のように保育枠を増やしており、令和2年4月の保育園在園児童数は、平成31年4月から155人増えて、3,174人となりました。しかし、依然として保育需要は高く、可能な限り「保育枠の確保」、「きめ細かな入園調整」を行ってきましたが、令和2年4月1日時点における待機児童は1人となりました。

【待機児童等の推移】

	H27	H28	H29	H30	H31	R2
待機児童数	0人	0人	0人	6人	5人	1人
入園調整中児童数	72人	91人	107人	139人	126人	131人

待機児童とは・・・厚生労働省からの調査により年4回報告する数値で、調査基準を国で定めている。

入園調整中児童とは・・・入園申請を提出して、希望園に入園できなかった全児童

【状況】

- ・平成27年度から平成29年度までの3年間、待機児童数はゼロを達成しましたが平成30年度は6人、平成31年度は5人、令和2年度は1人となりました。
- ・待機児童となった児童の年齢は3歳児となります。
- ・入園調整中児童数の約44%を占める0歳児～1歳児は、57人（前年比△7人）と減少し、約16%を占める2歳児は、21人（前年比△7人）と減少しました。小規模保育所の園数増加により、減少したものと考えられます。
- ・入園調整中児童数の約34%を占める3歳児は、45人（前年比+16人）と増加しました。小規模保育所の園数増加により、小規模保育所を卒園し転園する園児数の増（前年比+13人）、新規申請児童数の増（前年比+23人）によるものと考えられます。また、幼児教育・保育の無償化により女性の社会進出に拍車がかかったことも大きな要因と考えられます。

【対策】

- ・「保育所入所枠拡大プロジェクト」や「磐田市幼稚園・保育園再編計画」等の推進により、保育枠を拡大してきました。令和2年4月は、前年比+185人の保育枠を確保しました（聖隷こども園こうのとり富丘：120人、広瀬こども園：28人、小規模保育所2園：37人）。また、令和3年4月においても、令和2年4月比+57人の保育枠が増加する予定です（【仮称】岩田こども園：45人、小規模保育所1園：12人）。
- ・市独自ホームページの作成及び保育士確保に向けたフェアの開催により保育士確保に取り組んでいます。

【問い合わせ】 こども部幼稚園保育園課 TEL0538-37-2754